

報 道 資 料

平成22年2月10日（水）

件 名 岩国基地に関する協議会（第3回）の開催について
概 要 このことについて、下記のとおり開催しましたのでお知らせします。

記

1 日 時 平成22年2月10日（水）13：10～14：10

2 場 所 岩国市役所 議会全員協議会室

3 主な出席者

岩国市：岩国市長	福田 良彦（ふくだ よしひこ）
岩国市副市長	大伴 國泰（おおとも くにやす）
基地対策担当部長	松林 達也（まつばやし たつや）
国：中国四国防衛局長	中村 範明（なかむら のりあき）
中国四国防衛局企画部長	藤代 誠（ふじしろ まこと）
山口県：総務部理事	藤部 秀則（ふじべ ひでのり）

4 概要

（1）協議会確認事項の取り組み状況

① 街頭緊急通報システム（通称：スーパー防犯灯）の設置

基地正門付近から川下出張所区間に7基設置 平成22年3月31日設置完了予定
（モニターは岩国警察署及び市コミュニティ課に設置し24時間体制で管理）

② セーフティブリーフィング

平成21年11月 岩国基地において実施

- ・ 岩国市における基地問題の実情や事件・事故等が発生した場合の影響とその防止の必要性について市長自らが説明
- ・ 中国四国防衛局から、地方公共団体及び周辺住民の理解と協力を得るための不断努力が必要なこと等を説明
- ・ 今後も継続して実施する方向で調整を行う。

③ 安心・安全共同パトロール

平成21年8月、12月 川下地区及び麻里布地区の繁華街において実施

- ・ 岩国市長、山口県岩国県民局長、中国四国防衛局長及び米海兵隊岩国航空基地司令官が参加
- ・ 今後も継続して実施する方向で調整を行う。

④ 日米親善交流事業の広報等

『広報いわくに』において広報を実施（予定）。

平成21年8月 「キッズフェスティバル」、「米軍基地ユーススポーツ（サッカー）」

平成21年12月 「クリスマスリース交換会及び贈呈式」

平成22年2月 「日米親善交流サッカー」

各種日米交流事業等については、引き続き、『広報いわくに』に随時掲載し周知に努める。

⑤ 騒音苦情の公表

平成21年8月 中国四国防衛局ホームページへの掲載（毎月1回更新）を開始するとともに岩国市ホームページとの相互リンク構築

⑥ 航空機騒音の測定監視体制の充実（騒音測定器の増設）

- ・ 岩国市からの要望を受けて、中国四国防衛局は騒音測定器 1 器を増設（一文字終末処理場（新港地区）に今年度中に設置、来年度から測定開始予定）

（２）協議事項

① 日米親善交流事業

- ・ 中国四国防衛局が主催して 2 月 27 日に基地内で日米親善交流事業を実施する予定である。
- ・ 川下地区の小学生とその家族及び米軍人とその家族が凧揚げ、ミニゲーム等を行い交流を深める。

② 工事関係車両による渋滞緩和対策

- ・ 滑走路移設事業等に伴う工事関係車両による恒常的な渋滞について、交通誘導員の増員に加え、昨年 10 月から普通車両の待機場所として約 100 台を収容できる駐車場を借り上げた。
- ・ さらに 12 月からは、朝 4 時から 7 時までの間、工事作業車の指定車両に限り正門から入門が可能となった。（当初、最大 200 台とされていたが、本年 1 月から 300 台に増加された。）
- ・ 中国四国防衛局は、今後とも渋滞状況を踏まえ、関係部署と調整を行い、改善に努める。

③ 航空機の飛行時間に関する事項

- ・ 平成 21 年 7 月から 12 月までの半年間における岩国飛行場の時間帯別航空機騒音発生回数のデーターを見る限り、米海兵隊岩国航空基地は、岩国日米協議会の確認事項を最大限尊重していると考えられる。
- ・ しかし、半年間のデーターでは確たることはいえないこともあり、今後も継続して情報収集し協議していく。
- ・ 航空機の飛行時間については、市からの要望に対し、国の回答では、「岩国日米協議会の確認事項の尊重」にとどまっており、今後、騒音規制措置の充実・強化を図っていくためには、夜間・早朝の飛行禁止をはじめ、岩国日米協議会の確認事項のあり方等についても検討すべきであると再度要望した。

④ 住宅防音工事の対象拡大

- ・ 国は、現行の住宅防音事業について、航空機騒音に係る重点施策として、現下の国の厳しい財政事情の下、更なる促進に努力し、平成 21 年度は、総額として約 29 億円の住宅防音予算を措置し、その執行に努めていることを確認した。
- ・ 中国四国防衛局から、更なる促進のために、住宅防音工事の未実施世帯を対象としたアンケート調査を行っているとの説明があった。
- ・ 住宅防音の対象区域の拡大については、市からの要望に対し、国の回答では、「将来の検討課題」とされているが、市民にとっては、沖合移設事業による騒音軽減等への変え大きな期待があったこと等を踏まえ、市としては、全国一律ではなくこうした事情も踏まえた制度改正や弾力的な対応について再度要望した。

（３）その他

協議会開催の前に、岩国市（岩国市長）が国（中国四国防衛局長）に対し、「岩国飛行場及びその近郊を恒常的な FCLP 施設の整備場所としないこと」の要望書

(別紙)を手交し、住民不安の解消を図るため、できるだけ早期の文書回答を求めた。

(4) 市長コメント

新政権になり、米軍再編や愛宕山用地の件では不透明な事柄もあり目が離せない状況の中ではあるが、今後も継続して、基地に起因する諸問題の解決を図るため、三者が共働して協議を行うことを確認した。

日米親善交流事業や工事関係車両による渋滞の問題等多岐にわたり協議を行ったが、安心・安全対策の中でも市民の大きな関心事である、航空機の運用や住宅防音工事の対象区域の拡大に関する事項については残念ながら具体的な成果は得られなかったものの、こうした課題については、中長期的な視点に立って粘り強く取り組むべき課題であると認識しており、今後も継続して国としっかり協議し、地元の実情に即した対応がなされるよう努力したい。

なお、岩国市の要望事項である騒音測定器の3箇所増設(2箇所については平成20年度設置済み)については、国が逐次設置を行ったことから、航空機騒音の実態把握のための監視体制が整うものと考えている。

また、治安対策の一環として、私が自ら基地に赴き、直接、米軍関係者に対し、地元の状況を説明するセーフティブリーフィングや市内の繁華街においての安心・安全共同パトロールについても今後も継続して実施したいと考えている。

今後とも、引き続き、市民の安心・安全の確保に全力を傾注し、多くの市民に納得のいくような結果を出すべく努力してまいり所存である。

岩国市総合政策部基地対策課 TEL 0827-29-5024 (直通)

平 2 1 基地第 6 9 9 号

平成 2 2 年 2 月 1 0 日

防衛大臣 北 澤 俊 美 様

岩国市長 福 田 良 彦

岩国飛行場及びその近郊を恒常的な F C L P 施設の
整備場所としないことについて

岩国市は、岩国飛行場及びその近郊を恒常的な F C L P 施設の整備場所とすることは、激しい騒音をもたらし、住民の生活への影響が極めて多大であることから、絶対に受け入れられないものであります。

政府においては、これまで、岩国飛行場及びその近郊には整備しないと明言されておりますが、他方、先日の政府決定で普天間基地の移設問題の結論を先送りされ、米軍再編全体についての見直しの方向性が明らかにされていないことから、住民の間に不安が広がっております。

こうしたことから、恒常的な F C L P 施設を岩国飛行場及びその近郊に整備しないとするこれまでの政府の方針に関しても、これを見直されるのではないかと危惧するものです。

つきましては、改めて、政府として、岩国飛行場及びその近郊を恒常的な F C L P 施設の整備場所とする考えはないとするこれまでの方針に変更がない旨を文書により明確にされるよう要望いたします。